



『クリオネのしっぽ』

長崎 夏海 著
講談社

ある事件をきっかけに学校では最低限の人間関係しか築かない美羽、病弱な弟の世話に追われる唯、周田に敵意をむき出しにするヤンキーな転校生の幸栄。それぞれが現実の辛さを抱えながら、関わる時間が増えていき…。少し切なくもリアルな青春物語です。



『いちごの唄』

岡田 恵和 著
朝日新聞出版

人気バンド銀杏BOYSの7つの楽曲を元に作られた物語。一年に一度、親友の命日である七夕の日に好きな人と会う約束をする主人公の笹沢コウタ。彼の不器用でかっこ悪くも、自分の気持ちに正直に生きる姿には胸を打たれます。物語の元になった楽曲を聴くと、より一層楽しむことができる一冊です。



『4 TEEN (フォーティーン)』

石田 衣良 著 新潮社

大人ではないけれど、子供でもない。何でもできるようではない。でもやっぱり何もできない。そんな大人と子供の狭間、思春期を全力で過していく十四歳の中学生四人組。悩みを抱え、時には傷つきながらも、力強く生きていく姿を見て、みんなにまっすぐな顔が私にはあったのだろうかと考えてしまっ。

青 い 春

『春や春』

森谷 明子 著
光文社

茜は俳句好きの女子高生。趣味を理解してくれる友人が初めてでき、俳句同好会を設立することに…。目指すは「俳句甲子園」！十七音に懸けるひたむきさ、手に汗握るディベート。俳句に興味のない人も是非。日本語の美しさにハッとします。



『幕が上がる』

平田 オリザ 著
講談社

舞台は地方の高校演劇部。毎年地区大会とまりだった部に、「学生演劇の女王」と呼ばれた先生が顧問として加わり、強豪校からの転校生も入ってくる。ただひたむきに演劇だけに打ち込む部員たちには、やがて高い目標が見えてくるが…。読後感が爽やかな青春小説。



『わたしがここにいる理由』

片川 優子 著
岩崎書店

中学生になった幼なじみの璃湖と一輝と彩加里。それぞれ新しい友達との付き合い方に迷い、ライバルの出現に悩み、突然芽生えた恋心にとまどう日々。壁にぶつかりながらも、大切なものを見つけていく三人に、きっと共感できる一冊です。



扉が開放されます！ 7/22 (月) ~ 7/25 (木) 13時半~15時半

高井戸中学校の図書室につながっている2階の扉が開放されます。一般の方に公開されるのは年に数回の貴重な機会。この機会にぜひ見に来てください！

※図書室の本は貸出できませんが、室内で閲覧は可能です。



夏 休みは
中高生によるおはなし会を行います！
毎週水曜日、
高井戸図書館2階、
おはなしの小部屋
にて。参加してみたい
という方大募集中で
す！